

## 『白百合遺跡発掘調査』の刊行について

市では、平成 20 年度に発掘調査を行いました白百合遺跡（静波区内）の記録及び関連調査・研究報告書を刊行しました。

白百合遺跡は、勝間田川流域の砂堤列上に位置する弥生時代中期から近世までの複合時代遺跡です。

今回の事例は、駿河湾西岸部では初めての砂堤上遺跡調査です。文中には、市内初発見である弥生時代の墓・土器の棺（ひつぎ）、牧ノ原台地沿岸部における弥生時代遺跡が全収録されています。

また、沿岸部における地質（砂堤・砂丘の形成）について、産業技術総合研究所・慶應義塾大学研究員による詳細な分析報告が行われています。

- 1 本の体裁           A 4 判   2 6 0 ページ（内カラー 1 5 ページ）
- 2 掲載内容           土器等       7 0 0 点  
弥生時代中期の方形周溝墓・土器棺墓  
弥生時代後期の竪穴住居跡・掘立柱建物跡  
奈良時代の竪穴住居跡  
中世の掘立柱建物跡・井戸等  
論考           牧ノ原台地沿岸に弥生時代遺跡分布  
静岡県における砂堤列の発達と弥生時代遺跡事例  
地質情報と絵図から復元した縄文時代以降の海岸線の変遷
- 3 配布・販売       市内（図書館・学校・行政区）・文化庁及び県内外の図書館・市町教育委員会・研究機関等へ300冊を配布。  
榛原文化センター・史料館で1冊2,500円にて販売しています。

